



あ さ の は

長岡赤十字病院

長岡市千秋 2 丁目 297-1
電話 0258-28-3600
ホームページアドレス
<http://www.nagaoka.jrc.or.jp/>

【基本理念】私たちは命と健康に向き合うことを医療の原点とします。

平成 30 年度患者満足度調査結果

患者満足度調査は今年度から新たな調査用紙を用い、平成30年11月に実施いたしました。外来及び入院患者さんを対象に、延べ894名からご回答いただきました。回収率は外来77.5%、入院は85.5%でした。ご協力ありがとうございました。

入院については、全体的に高く評価していただきましたが、施設・設備面やお食事に対して低い評価となりました。

外来については、待ち時間や施設などが低く評価されました。

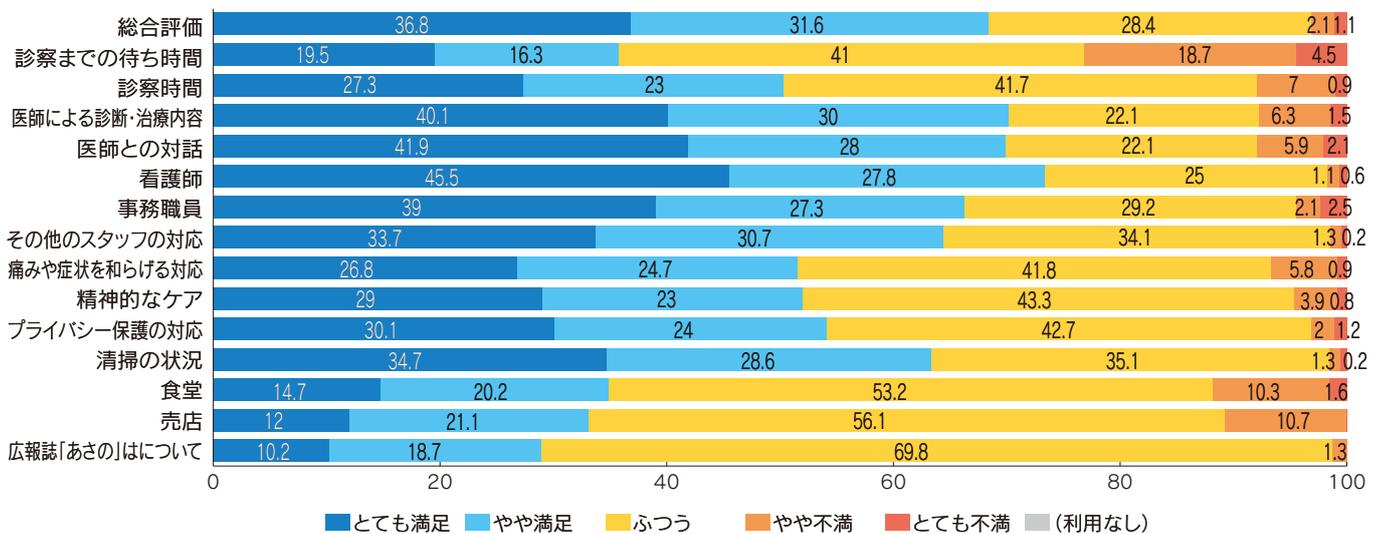
この結果を基に、病院として今後、改善に取り組む優先項目を検討し、待ち時間の苦痛緩和や改善に

向けて、対策してまいります。

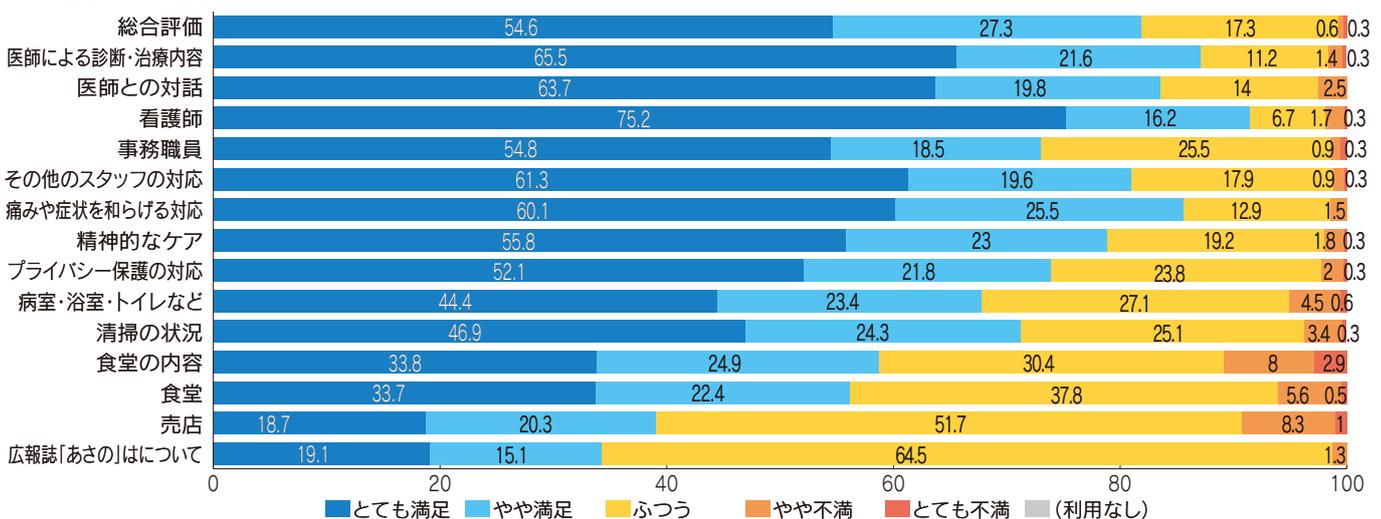
また売店については、2月下旬よりコンビニエンスストアが開店しました。品揃えの拡充や、一層のサービス向上に努めてまいります。

当広報誌「あさのは」については、地域における当院の役割や、取り組み、お知らせを中心に掲載しております。時代とともに変化する病院のあり方を「タイムリーに、わかりやすく皆様にお伝えする」ことを心がけてこれからも作成してまいります。広報誌も含め、ご意見・ご要望がありましたら、院内各所に設置の「提案箱」にお寄せください。今後ともご覧いただきますようお願い申し上げます。

【外来患者満足度調査結果】



【入院患者満足度調査結果】



院外処方へのご理解・ご協力の更なるお願い

今年になり薬局のカウンターが撤去され、目を見張るような速さでコンビニエンスストアが出来上がりました。その工事の最中から、『薬局の窓口の縮小について』という掲示をさせていただいておりました。最終的に開閉式のお薬の受け渡し用窓口のみとなり、通常は窓口を閉め、必要時にはインターフォンでお呼びいただき対応する形式といたしました。

「何故、院内で薬をもらえないのか?」と思われる方は少なからずいらっしゃると思います。しかし当院では1日に800枚前後の処方箋が発行されており、これらを院内調剤した場合、患者さんは確実に待ち時間が膨大に増えることとなります。薬剤師には薬の受け渡し時に、薬の情報提供と指導する義務がありますが、当院の薬剤師数で全ての外来患者さんに遂行することはできないのが現状です。

医薬分業という言葉も古くなりましたが、複数の医療機関で処方された薬を、調剤薬局の薬剤師がチェックし、患者さんの過剰な服薬や、薬の飲み合わせによる危険性を防ぎ、薬害を減らすため、国の方針として始まりました。調剤薬局の薬剤師には患者さんに薬の説明をし、薬歴の管理をして、薬に関する安全性を担保するという目的があります。今では、かかりつけ薬局・薬剤師という言葉も聞かれるようになりました。

一方、病院薬剤師は入院中の患者さんの薬の安全性を確保することが義務付けられております。当院では全ての病棟に担当薬剤師を定め、一部の病棟には薬剤師が常駐しております。個々の患者さんへの薬の説明や効果・副作用の確認はもちろんのこと、病棟にある全ての薬の管理を行い、薬に関する責任を担っております。

外来患者さんの薬は調剤薬局の薬剤師が、入院患者さんの薬に関しては、病院薬剤師が責任を持つという薬剤師間での分業が必要なのです。

とあるCM、「...そんな薬剤師が居ることが私の人生を支えてくれている」

これを目指したい気持ちを、全ての薬剤師が持っていると思います。

長岡赤十字病院の薬剤師が、入院患者さんの薬の安全確保に、十分な力を注げるように、外来患者さんの院外処方へのご理解・ご協力をお願いいたします。

薬剤部長 丸山陵子



ISO15189 取得しました

この度、検体検査、生理学的検査、病理学的検査の3分野でISO15189を取得しました。

ISO 15189は臨床検査室に特化した国際規格に基づき審査され、品質マネジメント（正確な結果）と臨床検査の種類に応じた技術能力を有するとして、当院の検査体制・技術が第三者機関（JAB）の評価を得て認定されたものです。

今後も常に検査データの信頼性向上を目指し、業務を行ってまいります。

検査技師長 山田 隆



患者会からのお知らせ

がん患者サロン「ほほえみサロン千秋」

5月10日(金)・6月7日(金)・7月5日(金)・8月9日(金)

詳しくは院内掲示のポスターまたは当院ホームページのお知らせをご覧ください。

